

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

桜町・花畑地区

令和5年7月

熊本県熊本市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	桜町・花畑地区周辺の地価上昇率	%	100	102.5	133.6	確定		○	あり	●	134.8	R4年7月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	事業実施に伴う効果発現により、計画区域内の都市機能及び生活環境が向上し、桜町・花畑地区周辺の地価上昇に繋がっている。
指標2	オープンスペースの来場者数	人	585,530	1,018,313	1,018,313	確定		○	あり	●	2,027,796	R5年3月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	事業実施に伴う効果発現により、多様な賑わいの創出に繋がり、オープンスペースの来場者数増加に繋がっている。
指標3	地下通路の通行者数	人	8,676	13,014	13,014	確定		○	あり	●	2,940	R4年10月	△	花畑広場整備に伴い、地上の通行者数が増えたため。 ■改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	地下通路の通行者数は目標値を達成できなかったが、同じ場所である地上の花畑広場～新市街(スクランブル交差点)の通行者数が、平成26年の21,180人から令和4年には35,610人と14,430人増加している為、桜町・花畑地区の賑わいの波及へと繋がってきている。
指標4	中心市街地内の居住人口	人	36,604	37,000	37,651	確定		○	あり	●	37,895	R5年3月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	事業実施に伴う効果発現により、計画区域内の都市機能及び生活環境が向上し、中心市街地内の居住人口増加に繋がっている。

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み			理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定							☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定							☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定							☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるため に行う方策	商業・文化・業務機能と共存した機能性の高いまちなか居住 の促進及び賑わい創出	花畑広場でのイベントの開催	令和4年度については、花畑広場の来場者数 が200万人を超えるなど、大きな賑わいが創出 されている。	
	明るく快適で利用しやすい空間の維持	日常的な清掃や巡回警備等による維持管理	来訪者が安全で快適に利用しやすい空間の維 持ができています。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成 するための改善策 ・残された課題・新たな課 題への対応策 ・その他 必要な改善策	辛島公園北側道路の歩行者空間化	令和4年5月3日～令和4年5月5日 社会実験	周辺交通へ大きな影響がないことを確認できた。	長期社会実験の実施、関係者協議を行う予定。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施期間	実施にあたっての課題 その他特記事項